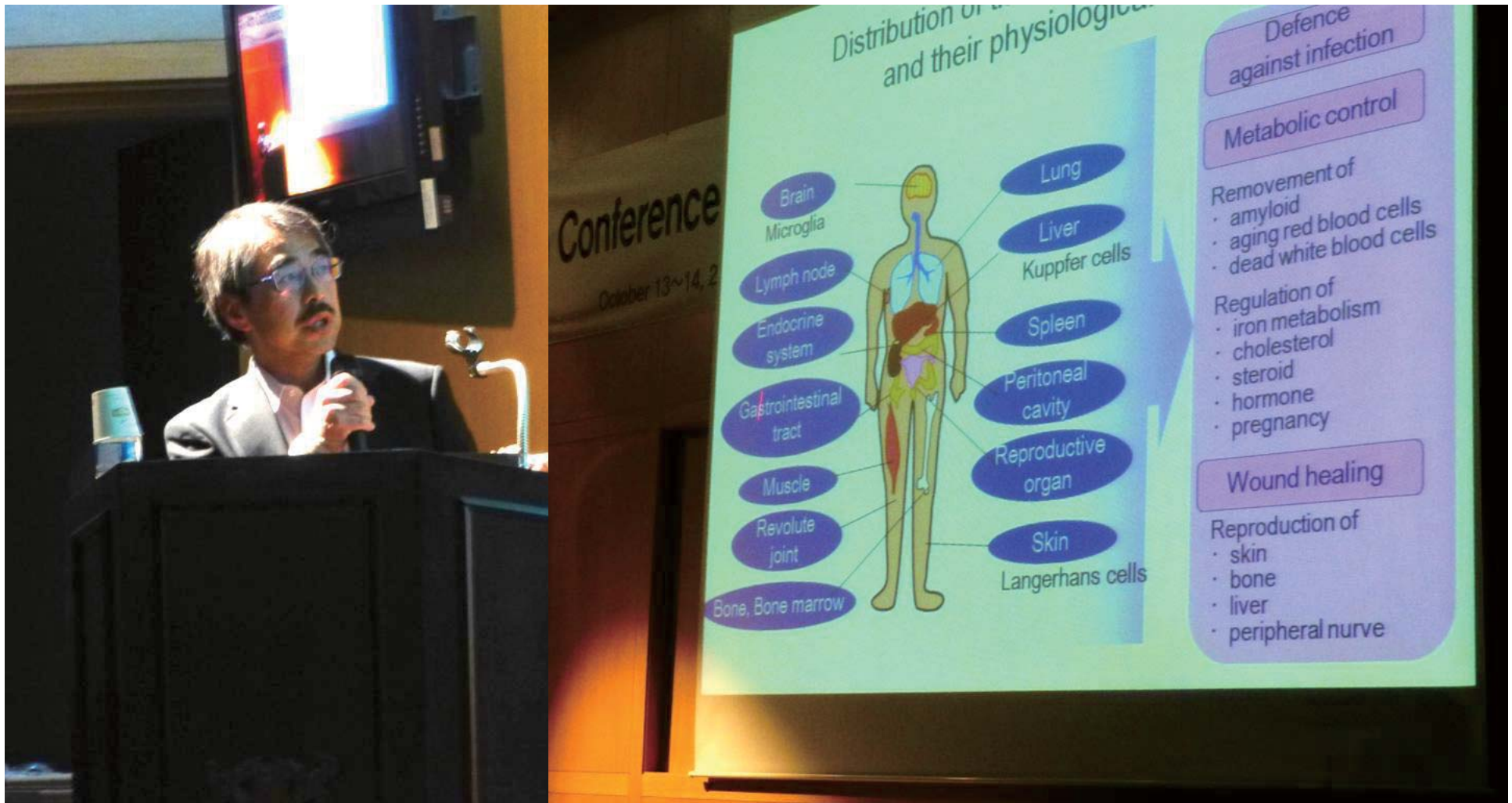


LPS(小動物用) ～サプリメントの現状と展望～



株式会社スケアクロウ
メディカル事業部
代表取締役 大川 博



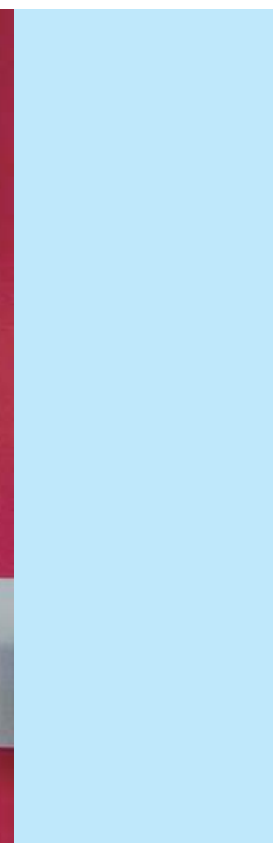
2012. 10 韓国・ソウル大学にて

「犬・猫のアレルギー性皮膚炎治療方法への新しいアプローチ法」

⇒ 24頭中17頭への改善報告(70. 8%)



2013. 11 日本・大阪にて
「アレルギー性皮膚炎に対するパントエア菌LPSの治療効果」
「LPSのイヌパルボウイルス感染症に対する効果」



2014. 7 中国・厦門にて
「LPSを用いた免疫療法によるガンと
ウイルス性疾患に対する予防・治療」



2014. 12 日本・香川にて
北海道薬科大学 薬学部 生命科学分野
若命 浩二 准教授

ダニ感作アトピーマウスに対する 小麦発酵抽出物(LPS)の経口投与の効果

○若命浩二¹、小松健一¹、上野哲史¹、青木りさ¹
大川博²、西澤孝志³、稲川裕之⁴

1. 北海道薬科大学 薬学部生命科学分野
2. 株式会社スケアクロウ
3. 自然免疫応用技研株式会社
4. 香川大学医学部統合免疫システム学講座



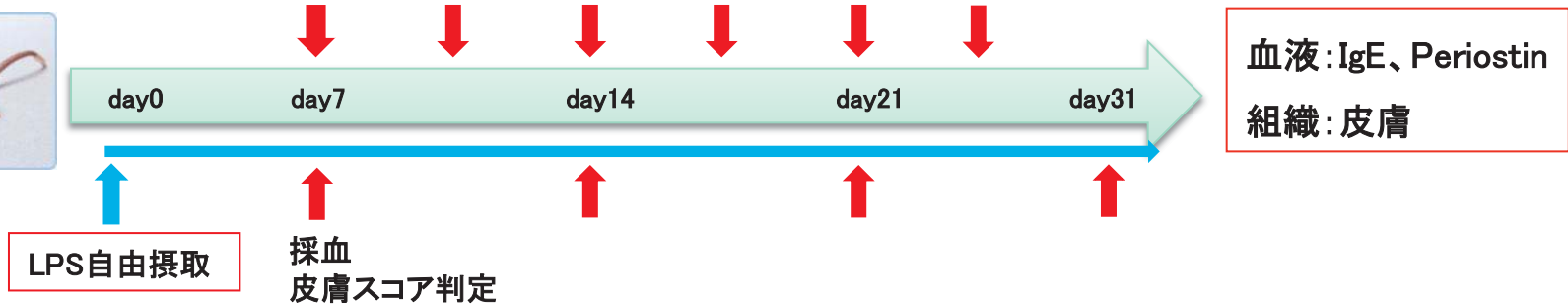
Hokkaido Pharmaceutical University
School of Pharmacy

実験計画



IL-4, IFN γ が欠損

ダニ抗原塗布



※LPS=小麦発酵抽出物中に(6.8mg/g含有)

5ml/25gBW摂取したとして

LPS:L=134 μ g/kg/day

LPS:H=1340 μ g/kg/day

(小麦発酵抽出物: 自然免疫応用技研株式会社より供与)

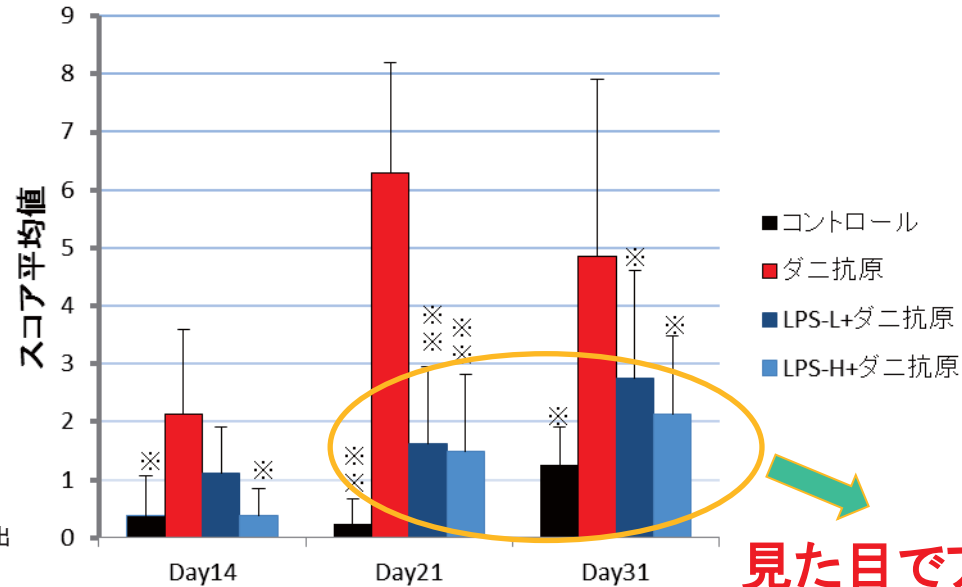
1. コントロール(n=8)
2. コントロール+ダニ抗原(n=8)
3. LPS(L:100 μ g/ml)+ダニ抗原(n=8)
4. LPS(H:1000 μ g/ml)+ダニ抗原(n=8)

皮膚スコア判定結果

アトピー所見スコア表

- ① 発赤・出血
- ② 痂皮形成・乾燥
- ③ 浮腫
- ④ 擦傷・組織欠損

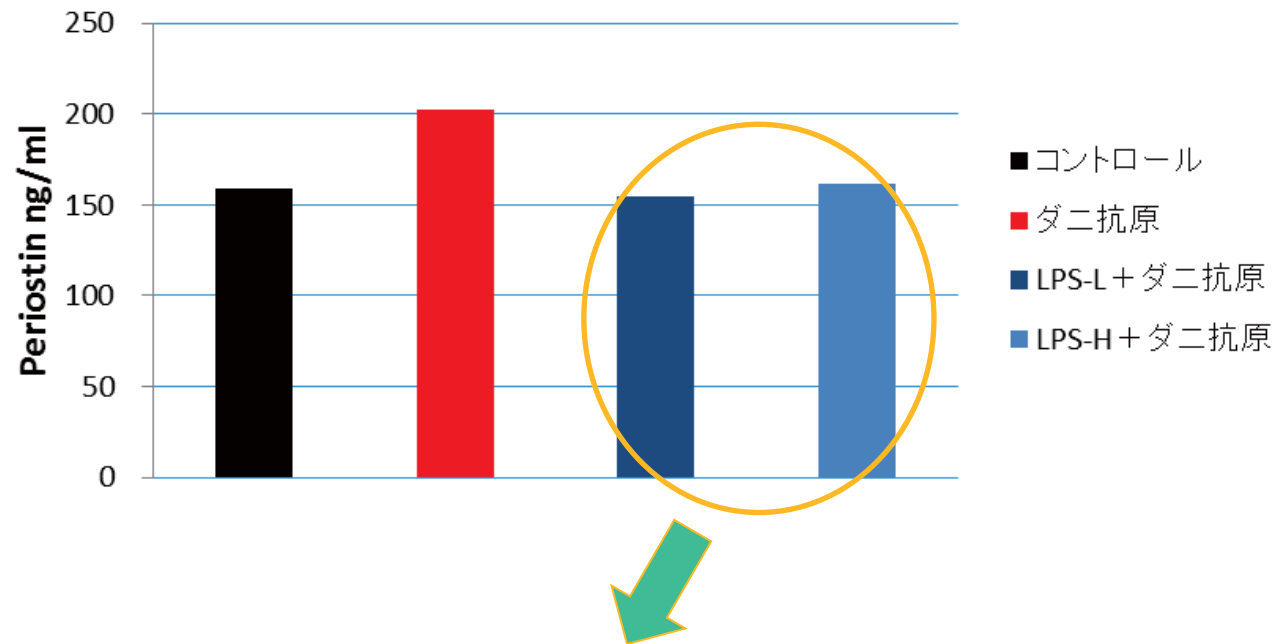
※各項目を0～3段階で評価し、合計スコアを算出



見た目でアトピー症状の抑制が分かります！！



血清中Periostin定量(Day21) 結果



アトピーを悪化させる因子と考えられている
血清中ペリオスチンも抑制している可能性があります！！
(統計解析中)

小麦発酵抽出物(LPS)は、低濃度(134 μ g/kg/day)、高濃度(1340 μ g/kg/day)いずれにおいても、アトピーモデルマウスに効果を示しました。

メカニズムとして免疫系への関与が考えられますが、今回の研究ではそれらを確認できませんでした。

ペリオスチンを抑制していることから、アトピーの悪化を抑制している可能性があります。

引き続き、小麦発酵抽出物(LPS)をアトピーモデルマウスに投与した際の、免疫系(特にTh1/Th2関連サイトカインの動態)を検証します。

続いて
のづた動物病院 古田獣医師

より臨床報告です